

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	綾瀬三田ビル	階数	地上5F
建設地	綾瀬市寺尾釜田2-19	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	3,804時間/年
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年7月25日
敷地面積	6,190 m ²	作成者	熊谷組
建築面積	3,775 m ²	確認日	2011年8月10日
延床面積	15,341 m ²	確認者	熊谷組



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 100%
 修繕・更新・解体: 102%
 運用: 102%
 ロンサイト: 102%
 オフサイト: 102%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 耐火建築物により外壁はALCを使用し、内部では壁に断熱ウレタ吹きつけ(25mm)、天井にグラスウール(100mm)を使用する、断熱性能を確保する計画とする	その他 特に無し	
Q1 室内環境 耐火建築物により外壁はALCを使用し、内部では壁に断熱ウレタ吹きつけ(25mm)、天井にグラスウール(100mm)を使用する、断熱性能を確保する計画とする	Q2 サービス性能 機能性を満足させるとともに、耐久性に配慮した設計とする。また、軽量下地を採用し、躯体と仕上げ材が容易に分別でき、内装材と設備が錯綜しない計画とする。	Q3 室外環境 (敷地内) 運用上必要な部分のみ舗装とし、それ以外をできるだけ緑化に努め、植栽帯を設ける計画とする。機械設置場所も基礎以外を砕石敷きとし、雨水の浸透排水に努めている。
LR1 エネルギー 消費エネルギーの詳細を把握し省エネが可能な部品の検索に努める。また、LED照明対応も検討する。	LR2 資源・マテリアル 内装材及び建材において低環境負荷材を可能な限り使用する計画を行なう。衛星器具を節水型の計画とする。	LR3 敷地外環境 雨水浸透枳の設置により、公共下水道への直接放流を抑える計画とする。また、建物利用者のための駐車場・駐輪場を確保することにより、利用者の利便性と周辺道路での路上駐車防止を図る計画とする

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される